

令和2年3月4日

フランクフルト日本人国際学校
保護者の皆様

新型コロナウイルスの対応について

フランクフルト日本人国際学校
校長 佐藤 益弘

新型コロナウイルス感染症について、日々状況が変化していることから、日本、ドイツ両国の動向を注視しながら速やかに対応していきたいと考えています。

すでに、様々な情報が錯綜していますが、学校としては常に正しい情報収集に努めながら、日本及びドイツ当局・ヘッセン州の示す保健指導を徹底していくと同時に、子どもたちへも新たに注意喚起をしていきたいと思っております。

1 現時点での対応

日本では、2月27日に開催された新型コロナウイルス感染症対策本部において、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校における一斉の臨時休業を要請する方針が内閣総理大臣より示されました。

本校としましては、ドイツ政府・ヘッセン州の方針等を注視しながら、現状では休業の措置はとらず、卒業式、修了式まで感染防止の措置をした上で平常通り進める予定です。

なお、通常時とは違いますので毎朝検温等をしていただき、登校時に発熱等の体調不良の症状がありましたら、無理をせず欠席されますようご協力願います。

また、本人および家族が感染者の多い地域に行かれた場合につきましても現時点では朝の体調による判断としますが、今後の状況によっては、2週間の自宅での待機となる場合もありますのでご承知おきください。この場合には、新たな通知でお知らせします。

新年度初め(始業式・入学式等)につきましても現時点では予定通り実施と考えておりますが、今後の状況により判断していく予定です。この場合にも新たな通知でお知らせします。

つきましては、感染防止につとめながら学校への継続的な登校ができますようご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

2 学年末・学年始の対応について

- (1) 日本に一時帰国する保護者・児童生徒は感染症対策について十分ご注意ください。また、春期休業中にお子様が日本、韓国、中国、イタリア、イラン等感染者の多い地域へ渡航されますご家庭は、事前に別紙にて担任へ連絡していただきますようご協力をお願いいたします。（渡航先、期間等）
- (2) 現在のところ、ドイツでは日本への渡航制限や日本からの入国制限措置は取られておりません。今後の対応については、メールにて配信することになりますので、春期休業中も受信できるようお願いいたします。

3 新型コロナウイルスに感染しないようにするために

- (1) ドアノブや電車のつり皮など様々な物に触れることにより、自分の手にもウイルスが付着する可能性があります。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手洗い・うがいをする。
- (2) 普段から、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ免疫力を高める。
- (3) 空気が乾燥すると喉の粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では定期的に空気を入れ替えたり加湿器を使ったりして適切な湿度（50～60％）を保つようにする。
- (4) 外出する際はできるだけ人混みを避ける。必要に応じてマスクを着用する。
- (5) 咳エチケットにも心がける。
- (6) 学校行事などで人が集まる場所やエントランス入り口等にアルコール消毒液を設置する。

4 学校保健安全法19条による出席停止とする目安

- (1) 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合（解熱剤を飲み続けなければならない場合も同様）
- (2) 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）等の肺炎症状がある場合
- (3) 医療機関において新型コロナウイルスに感染していると診断された場合

5 アジア人に向けた中傷、差別的言動に対して

フランクフルトでは、日本人を含むアジア人に対して、中傷や差別的言動の事案が報告されています。

そのようなときは、無視をする、助けを求める等、自分で自分を守るようにしてください。また、そのような事案が発生しましたら、直ちに総領事館または学校に連絡をしてください。

※ 今後も新しい情報が入り次第、随時お知らせしてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。